行政評価シート（事務事業評価）

評価年度	28年度

事業名	安全・安心なまちづくり事業	担当課	総務課
細分化した事業名			

1 計画（PLAN）：事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	誰もが安心して暮らせるまちづくり
	政策	安全・安心に生活できる地域体制の構築
	施策	消防・救急体制の充実、防災体制の強化
関連する個別計画等		根拠条例等

2 計画（PLAN）：事務事業の概要

事業の目的	防犯パトロールの実施や防犯灯を設置することで、犯罪発生の抑止を図る。
事業の手段	・平日毎日 4 時間（午前 1 時間、午後 3 時間）、教育委員会主管のスクールガードリーダーとともに青色回転灯付車両を委託運行し防犯パトロールを行う。 ・防犯灯の設置・修繕について、LED 防犯灯切替促進化事業として、既存の蛍光灯防犯灯から LED 化することで、電力消費量を抑えランニングコストの削減に繋げているほか、地区要望に基づく新設の防犯灯にはすべて LED のものを設置している。
事業の対象	市民全般

3 実施（DO）：投入費用及び従事職員の推移（インプット＝費用＋作業）

		25 年度	26 年度	27 年度
A 事業費	（千円）	3,274	3,771	5,103
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	その他（使用料・借入金ほか）	0	0	0
	一般財源	3,274	3,771	5,103
B 担当職員数（職員 E）	（人）	0.5	0.5	0.5
C 人件費(平均人件費×E)	（千円）	3,246	3,397	3,357
D 総事業費(A+C)	（千円）	6,520	7,168	8,460

主な事業費用の説明	LED 防犯灯の購入費、防犯灯の修繕・新設に伴う委託料、青色回転灯付車両による防犯巡回委託料

注）平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した 25 年度（6,491 円）,26 年度（6,794 千円）,27 年度（6,715 千円）を使用しています。

4 実施（DO）：事業を数字で分析（アウトプット＝事業量）

		指標名	指標の算出方法	実績値 25 年度	26 年度	27 年度
活動指標	1	LED 防犯灯の設置数	累計設置数	197	243	739
	2	防犯パトロール実施日	実施日数	241	243	237
	3					

妥当性		□ A 妥当である　■ B ほぼ妥当である　□ C 妥当でない
上記活動指標と妥当性の説明	1	LED 防犯灯への切替促進により、自治会の維持管理の負担が大幅に減り、さらに、省エネにも繋がるため妥当である。
	2	
	3	

5 評価（CHECK）： 事務事業評価 （アウトカム＝成果・効果）

		指標名	指標の算出方法	実績値		
				25 年度	26 年度	27 年度
成果指標もしくはまちづくり指標	1	LED 防犯灯の設置率	LED 防犯灯の設置数÷市内防犯灯設置数（%）	6.7	8.1	24.8
	2	防犯パトロール実施率	実施日数÷休日を除く平日（%）	99.2	98.8	99..2
	3					

成 果		□ A 上がっている ■ B ほぼ上がっている □ C 上がっていない
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	毎年継続的に防犯灯のＬＥＤ化への切替申請が上がってきており、着実に市内防犯灯のＬＥＤ化が進んでいるため妥当である。
	2	車検等に伴う車両の修理日以外は、毎日パトロールを実施しており、教育課の委嘱するスクールガードリーダーと連携する中で、不審者目撃情報等のあった箇所を重点的に見回るなど、犯罪抑止へ一定の効果が上がっているため妥当である。
	3	

事務事業総合評価	□ A 期待以上に達成 ■ B 期待どおりに達成 □ C 期待以下の達成

6 改善（ACTION）：今後の事務事業の展開

今後の事業展開	□ 拡大（コストを集中的に投入する） ■ 一部改善（事務的な改善を実施する） □ 全部改善（内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要） □ 縮小（規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する） □ 廃止（廃止の検討が必要）
事務事業の改善案	改善の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか） 28 年度の改善計画（今後の事業展開説明） 新設及び既設防犯灯のＬＥＤへの更新について、器具の一括購入による事業推進を行うことにより、照度の確保や地域の負担の軽減を図る。
過去の改善経過	・平成１７年度 公用車２台による青色防犯パトロールを開始。平成１９年度より業務委託に。 ・平成２３年度 公用車１台は環境パトロール用として環境政策担当に依頼。 ・平成２４年度 新設防犯灯にＬＥＤを採用。 ・平成２５年度 韮崎市防犯灯設置要綱を施行。 ・平成２７年度 器具一括購入によるＬＥＤ切替促進事業（地区への器具本体配布）を開始。
課長所見	防犯パトロール及び防犯灯の設置は、安全・安心なまちづくり事業の根本である。 防犯灯のＬＥＤ化は地区負担電気料の削減と従来の照度を上回り、今後も推進すべきである。